

令和元年度第1回「ていねっていいね！区民の集い」議事録（概要）

1 開催日時：令和元年6月27日（木）14時～15時

2 開催場所：手稲区民センター2階 区民ホール

3 出席者：出席33名、欠席10名

4 内容：以下のとおり

(1) 次第1 開会

- ・ 交代のあった参加団体代表者の紹介（資料3の参加団体名簿で網掛けのある方）
- ・ 役員改選について（資料1～3）

【宗万市民部長説明要旨】

- ・ 座長については、「区民の集い設置要綱」第5条第3項の規定により区連協会長に再任された笹渕座長が留任。
- ・ 副座長及び運営委員長については、同要綱第5条第6項の規定により、運営委員は同要綱第6条第3項の規定により、座長が選任することとなっており、資料2の運営委員会構成員名簿のとおり笹渕座長が選任。

(2) 次第2 座長挨拶

【笹渕座長挨拶要旨】

今年度も、手稲区民の安全と安心が守られるように、区民の集いの活動をしていきたい。

本年度は、手稲区が西区から独立してちょうど30年になる。昨年は、そのためのロゴマークを科学大学の皆さんにつくっていただき、新しいていぬも完成した。

今日は、区民の集いの平成30度の活動報告と令和元年度の活動テーマと年間計画の議事があるため、忌憚のないご意見をよろしくお願ひしたい。

(3) 次第3 区長挨拶

【田中手稲区長挨拶要旨】

「ていねっていいね！区民の集い」は、区民の皆様が主役となって、地域に愛着と誇りを持った「ふるさと手稲」づくりを進めることを目的に、設立されている。

皆様には、この場を活用して、情報共有、情報交換などを行っていただき、よりよい手稲のまちづくりにご尽力いただければ幸いである。

今年は、手稲区が西区から分区して30周年となるが、皆様に選定していただいた、ロゴマークを使って様々な機会を捉えて、区民の皆様とともに30周年のお祝いをしていこうと考えているため、またご協力をよろしくお願ひしたい。

(4) 次第4 議事

ア 「ていねっていいね！区民の集い」平成30年度活動報告

【吉田地域振興課長説明要旨】（資料4）

- ・ 平成30年6月28日に区民ホールにおいて、第1回「ていねっていいね！区民の集い」を開催。平成30年度は、前年度に引き続き、活動テーマを「安全・安心なまちづくり」と「区の魅力づくり」の2つとした。
- ・ 9月3日に北海道科学大学で開催された札幌市総合防災訓練に参加。
- ・ 11月9日に手稲区保健福祉部が主催した手稲区災害時支え合い研修会に参加。
- ・ 11月28日に区民ホールにおいて、第2回「ていねっていいね！区民の集い」を開催。手稲区30周年を記念して制作したロゴマークを選定した。

イ ていね活用委員会平成30年度事業報告

【吉田地域振興課長説明要旨】（資料5～6）

- ・ 「ていね活用委員会規約」第1条にていね活用委員会は区民の集いの下に設置すると定められている。
また、同規約第6条に事業計画、収支予算及び収支決算は区民の集いに報告しなければならないと定められており、令和元年5月30日にていね活用委員会で議決された内容について報告する。
- ・ 活用事業では、各種イベントへの参加（着ぐるみの貸出）は、震災の影響等で中止となったイベントもあったことから、減少。しかしながら、依然として多くのイベントへ貸し出ししている。グッズの販売は、新商品としてマグネットステッカー、本革パスケース、新デザインのクリアファイルの販売を開始。また、次年度の販売に向けて新しいグッズの企画と商品化を行った。
- ・ 昨年度は、新たに着ぐるみの3号機を制作し、平成30年11月30日に納品された。
- ・ 平成30年度収支決算は、差引273,018円が次年度へ繰り越しとなった。
- ・ 昨年度新たに制作した3号機を皆様にお披露目。ていね活用委員会担当山根職員より説明を引き継ぐ。

【ていね活用委員会担当山根職員説明要旨】

- ・ この度制作した、ていね3号機と共に登壇し、着ぐるみの特徴について説明。
- ・ ていねの大きさは、1号機と2号機よりも奥行きが少し長くなったが、見た目はほとんど変わらない。
- ・ 3号機はバルーンタイプになり、折り畳んで持ち運ぶことが可能となった。
- ・ バルーンタイプになったことにより、しゃがんだり、頭の上の指を動かすなどの、軽快な動きが可能となった。
- ・ 依然として視界が狭く、1人で着るのも難しいため、介添えの方が1名必要となる。
- ・ 貸し出しの際は、使い勝手が1号機と2号機と異なるため、職員が事前説

明を行った上で貸し出ししている。時間がない場合は、レクチャー用のDVDも貸し出ししているため、ご自宅でご覧いただきたい。

ウ ていぬ活用委員会令和元年度事業計画

【吉田地域振興課長説明要旨】（資料7）

- ・ 活用事業では、各種イベントにおいて主催団体と協力してグッズの販売を行う予定。
- ・ 管理事業では、着ぐるみのクリーニングに加え、万が一の事故に備えて、3体の着ぐるみに対して動産保険をかけることとした。
- ・ 令和元年度収支予算は、今年度は助成金収入がないため、昨年度より減少し、合計は、1,123,028円となっている。
- ・ 皆様方には、ていぬの活用について、より一層のご協力をお願いしたい。

エ 令和元年度手稲区の目標と取組について

【涌島総務企画課長説明要旨】（資料8）

- ・ 「人に優しいまちづくり」と「ふるさと手稲づくり」の2つは、区民の皆さまに、手稲区に住んでいて良かったと実感していただくための目標。
- ・ 目標達成のため、資料のとおり「安心して暮らせるまちへ」、「大学や近隣市と連携したまちづくり」、「魅力の再発見と発信」、「人と人が支え合うまちへ」の4つの取組を行う。

「安心して暮らせるまちへ」

- ・ 新規事業として、災害時の避難所となる区内小・中学校などへの非常用電源の設置、避難所の備蓄物資の拡充に取り組むほか、避難所へのブルーシートの配布や、地域の自主的な防災取り組みを支援する研修などを引き続き実施する。
- ・ 地域防災事業者ネットワーク会議を開催し、防災対応に係る事業者間連携を一層進めていく。
- ・ 交通事故や犯罪のないまちを目指し、町内会や関係団体とともに、交通安全啓発活動を引き続き実施するほか、手稲警察署から提供いただく犯罪情報を区のホームページやラジオを通じて発信する。

「大学や近隣市と連携したまちづくり」

- ・ 北海道科学大学の学生にデザインしていただいた区制30周年記念のロゴマークを、ていぬ夏あかりなど地域の各種行事にて活用。
- ・ 小樽市・石狩市とともに、観光PRイベントを開催するほか、合同で交通安全街頭啓発を行う。

「魅力の再発見と発信」

- ・ 手稲区親善大使の三浦雄一郎氏の特別講演を開催し、手稲区30周年を皆様とともに祝いし、地域の一体感をより一層深めてもらう機会をつくる。

- ・ 手稲山の魅力再発見では、手稲山の自然に触れて親しんでもらうために、手稲山ウオーキングや親子スキー教室を開催する。
- ・ 手稲区ふるさと大使の伊藤多喜雄氏を地域の行事にお招きし、手稲の魅力を内外に発信していく。

「人と人が支え合うまちへ」

- ・ 災害時に地域で助け合い、支え合う高齢の方や障がいのある方に配慮した自主的な避難体制づくりを支援していく。
- ・ 知的障がいのある方への資格取得支援として、今年度も介護職員初任者養成講座を実施する。
- ・ 区民センター1階に、子育ての困りごとを相談できる、こそだてインフォメーション「きてみてルーム」の運営などを通じて、地域一体となって子育てを支えていく。

【質問 富丘連合町内会、富丘西宮の沢まちづくり協議会 佐藤事務局長】

- ・ 知的障がいのある方への資格取得支援ですが、具体的にはどのようなものなのか。

【回答 涌島総務企画課長】

- ・ 障がいのある方々に、就労に結びつくような資格の取得を目的とし、介護の初任者の資格を取っていただくための講座を毎年実施している。参加した方全員が就労に結びつくところまではいっていないが、本人の動機づけや資格取得について大きな自信を持っていただける事業となっている。

オ 手稲区地域防災事業者ネットワーク会議について

【涌島総務企画課長説明要旨】（資料9）

- ・ 手稲区地域防災事業者ネットワーク会議は、平成28年2月に立ち上げており、当会議で共有された情報や議論の内容を区民の集いに報告するとともに、ご意見やご要望があれば、当会議にフィードバックして、区民の集いと連携を図りながら災害に強いまち手稲をとともに構築していきたい。
- ・ 新たなメンバーとして、手稲警察署が加わった。加入の経緯としては、昨年6月の区民の集い運営委員会の場合において、災害の際には警察が果たす役割が大きいのではないかという意見をいただき、手稲警察署に参加いただいた。
- ・ 東洋水産株式会社北海道事業部にオブザーバーとして、参加いただいた。
- ・ 当会議では、本市の建設局市街地復旧推進室の櫻井室長から基調講演があった。テーマは、「北海道胆振当部地震に伴う清田区里塚地区の復旧について」で、里塚地区の被災概要、被災メカニズム、対策工事、各種支援策などについてお話をいただいた。
- ・ 参加の各事業者から、昨年9月の地震を経験した中でどのようなことが実際に起きたのか等、発表していただいた。特に、停電時の電源確保や燃料補

給の確保、あるいは情報提供や情報共有などにつきまして各事業者から様々な課題が示された。

- ・ 会議では、昨年9月の発災以降、今年1年どのような事業者間連携が図れたか、あるいは検討しているかということ今年度の議題として、さらに情報共有を図っていききたい。

カ 手稲区 30 周年について

【涌島総務企画課長説明要旨】（資料 10）

- ・ 今年度は、区民の集いの場にて、選定されたロゴマークを活用した、PRグッズを作成した。これらのグッズについては、区が主催する事業はもとより、各地域、各団体の皆様方のイベントや行事、あるいは、商店街様でもいろいろなPR、ポスターその他の掲示、配布等にご協力をいただいている。
- ・ グッズを活用した行事や30周年の冠をかぶせていただいた事業等については、取材をして、写真を区のホームページ等にも掲載し、さらにPRをしたい。
- ・ 手稲区親善大使の三浦雄一郎氏をお招きして、11月10日に区民ホールで記念イベント講演会を開催する予定。
- ・ 11月6日が手稲区30周年の節目のため、11月1日から10日までの間に、JR手稲駅自由通路あいくるにて、30周年記念のパネル展を開催。

キ 「ていねっていいね！区民の集い」令和元年度年間計画

【竹谷運営委員長説明要旨】（資料 11～12）

- ・ 令和元年度区民の集いの活動テーマは、昨年に引き続き、「安全・安心なまちづくり」と「区の魅力づくり」の2本柱として進めてまいりたい。
- ・ 年間の流れについて、区民の集いは本日の第1回を含め、年2回を予定。第2回については10月12日（土）に開催予定。
- ・ 第2回目の区民の集いについては、「安全・安心なまちづくり」をテーマに、一昨年度開催し、大変好評だった「体感型 防災アトラクション®」を開催したい。
- ・ その他の日程では、「安全・安心なまちづくり」に関して、9月4日に手稲区防災訓練があり、区民の集いの参加団体の皆様にご出席していただきたい。また、日程は確定していないが、1月以降、手稲区災害時支え合い研修会を予定している。担当部から後日、関係する団体にご案内する。
- ・ 「区の魅力づくり」のテーマについては、参加団体の皆さまに地域の行事にて、手稲区30周年記念ロゴマークの活用をお願いしたい。

ク その他 なし

(5) 次第5 閉会

【笹渕座長】

以上で令和元年度第1回「区民の集い」を終了する。

(以上により議事を終了、すべて事務局原案のとおり承認)

以上